

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-153951

(43)Date of publication of application : 27.05.2003

(51)Int.Cl.

A61F 13/49

A61F 5/44

A61F 13/56

(21)Application number : 2001-356243

(71)Applicant : DAIO PAPER CORP

(22)Date of filing : 21.11.2001

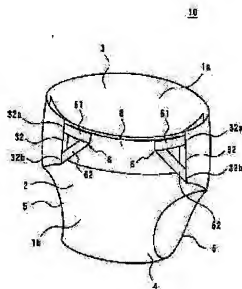
(72)Inventor : SHIOMI TAKAYUKI  
MATSUI TOMOTSUGU

## (54) FASTENING STRUCTURE FOR DISPOSAL DIAPER AND DISPOSAL DIAPER

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a fastening structure for a disposal diaper capable of preferably fixing a disposal diaper to a human body which can be more easily attached and detached, and the disposal diaper.

**SOLUTION:** Fastening tapes 6 and 6 provided on both side edge parts 32 and 32 of a back side part 3 of a disposal diaper body 1 are composed of a first tape part 61 and a second tape part 62. A base end part of the first tape part 61 is fixed to a position 32a on the side of a waist part 9a in a side edge part 32 of the back side part 3. A base end part of the second tape part 62 is fixed to a position 32b on the side of a leg part 5 in the side edge part 32. The first tape part 61 is extended to be roughly parallel to the waist part 9a of the back side part. The second tape part 62 is extended to be inclined toward the waist part 9a to be fixed to a tip part 63 of the first tape part 61, and a fastening member 7 is provided on the tip part 63.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

04.11.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

13.02.2007

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3986298

[Date of registration]

20.07.2007

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

2007-007766

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

15.03.2007

[Date of extinction of right]

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テレポート(参考)
A 6 1 F 13/49 5/44 13/56		A 6 1 F 5/44 A 4 1 B 13/02	H 3 B 0 2 9 H 4 C 0 9 8
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 7 頁)			
(21) 出願番号	特願2001-356243(P2001-356243)	(71) 出願人	390029148 大王製紙株式会社 愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号
(22) 出願日	平成13年11月21日(2001.11.21)	(72) 発明者	塩見 剛之 栃木県塩谷郡喜連川町鷺宿字菅ノ沢4776番 4号 エリエールペーパーテック株式会社 内
		(72) 発明者	松井 智嗣 愛媛県伊予三島市寒川町4765番11号 ダイ オーペーパーコンパニィング株式会社内
		(74) 代理人	100090033 弁理士 荒船 博司 (外1名)

最終頁に続く

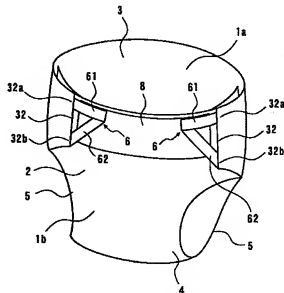
## (54) 【発明の名称】 紙おむつの止着構造および紙おむつ

## (57) 【要約】

【課題】 より着脱作業が容易であって、且つ人体に紙おむつ本体を好適に固定させることができる紙おむつの止着構造、および紙おむつを提供する。

【解決手段】 紙おむつ本体1の背側部3の両側縁部32、32に設けられる止着テープ6、6を、第1テープ部61と、第2テープ部62とで構成する。第1テープ部61の基端部を、背側部3の側縁部32において、胴周り部9a側の位置32aに固定し、第2テープの基端部を、側縁部32において胴周り部9a側の位置32bに固定する。第1テープ部61は背側部3の胴周り部9aと略平行に延出させる。また第2テープ62は胴周り部9aに向かって傾斜するように延出させて第1テープ部61の先端部63に固着させ、先端部63に止着部材7を設ける。

10



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】紙おむつ本体の背側部の両側縁部に設けられる止着部と、

前記紙おむつ本体の腹側部に設けられ、前記止着部と着脱自在な被着部と、

脚周りと、胴周りと、を有し、

前記止着部が前記被着部に止着されて人体に取り付けられる紙おむつの止着構造において、

前記止着部は、前記紙おむつ本体の背側部の両側縁部のそれぞれに一つずつ配され、

該止着部の基端部は、前記紙おむつ本体の前記脚周りを形成する開口縁側と、前記脚周り側と、のそれぞれに固定されていることを特徴とする紙おむつの止着構造。

【請求項2】請求項1に記載の紙おむつの止着構造において、

前記止着部は、前記基端部から該止着部の先端部にかけて幅が狭くなるように形成されていることを特徴とする紙おむつの止着構造。

【請求項3】請求項2に記載の紙おむつの止着構造において、

前記止着部の胴周り側の縁部は、前記紙おむつ本体の胴周りと略平行に形成され、

前記止着部の脚周り側の縁部は、前記紙おむつ本体の脚周りから胴周りに向かって傾斜するように形成されていることを特徴とする紙おむつの止着構造。

【請求項4】請求項2または3に記載の紙おむつの止着構造において、

前記止着部は、前記基端部側が、第1テープ部と第2テープ部とに分岐した構造となっており、

前記第1テープ部は、前記紙おむつ本体の胴周り側に固定され、

前記第2テープ部は、前記紙おむつ本体の脚周り側に固定されることを特徴とする紙おむつの止着構造。

【請求項5】請求項4に記載の紙おむつの止着構造において、

前記第2テープ部の弾性率は、前記第1テープ部の弾性率よりも大きいことを特徴とする紙おむつの止着構造。

【請求項6】請求項1～5のいずれかに記載の止着構造を備える紙おむつ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、紙おむつに備えられる止着構造、および紙おむつに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、図5に示すように、紙おむつ50は、透液性シート51aと不透液性シート（図示略）との間に高吸収性ポリマーなどで形成された吸収体（図示略）を介装させて構成される紙おむつ本体51と、紙おむつ本体51を人体に装着させる際に使用する、止着テープ56および被着テープ58とからなる止着構造を備

えて構成されている。紙おむつ本体51は、両側に脚周り部52が形成され、脚周り部52の間に股下部53となっており、更に股下部53を挟んだ一方の側が腹側部54、他方が背側部55となっている。この紙おむつ本体51の腹側部54の端部54aと、背側部55の端部55aとは、装着時に装着者の胴周り部分とされる。

【0003】紙おむつ50装着時に使用される止着テープ56、56…は、図5のように、紙おむつ本体51の背側部55の側部55bから突出するように設けられる。止着テープ56、56…の先端部には、例えば面ファスナーの一方の止着要素からなる止着部材57が設けられる。一方、紙おむつ本体51の腹側部54には、止着部材57、57が着脱自在な被着テープ58として、例えば面ファスナーの他方の止着要素等の被着部材が取り付けられる。紙おむつ50が装着される際には、人体の腹部で、紙おむつ本体51の背側部55の側部55bと、腹側部54の側部54bとが、止着テープ56、56…と被着テープ58とで固定される。

【0004】ところで、特に大人用の紙おむつ50の場合には、装着時に、胴周り部分と脚周り部分とが、それぞれ弛みや窮屈さ等がなく固定されることが望ましい。そこで、止着テープ56、56…を、背側部55の側部55b、55bにおいて、胴周り部付近と、脚周り部52近傍との2箇所、すなわち左右両側部に合計4本設けることにより、人体に適切に固定することができるようにしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような紙おむつ50では、人体への着脱作業において、4本の止着テープ56、56…を止着したり取り外したりしなければならず、大変手間が掛かってしまうという問題点があった。

【0006】本発明の課題は、より着脱作業が容易であって、且つ紙おむつを人体に好適に固定させることができる紙おむつの止着構造、および該止着構造を利用した紙おむつを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】以上の課題を解決するため、請求項1記載の発明は、例えば図1または図2に示すように、紙おむつ本体（1）の背側部（3）の両側縁部（側縁部32、32）に設けられる止着部（止着テープ6）と、前記紙おむつ本体の腹側部（2）に設けられ、前記止着部材と着脱自在な被着部（被着テープ8）と、脚周り（脚周り部5）と、胴周り（胴周り部9、9a、9b）と、を有し、前記止着部が前記被着部に止着されて人体に取り付けられる紙おむつ（10）の止着構造において、前記止着部は、前記紙おむつ本体の背側部の両側縁部のそれぞれに一つずつ配され、該止着部の基端部は、前記紙おむつ本体の胴周りを形成する開口縁側（胴周り部9）と、脚周り（脚周り部5）側と、のそれ

それに固定されていることを特徴とする。

【0008】請求項1に記載の発明によれば、止着部は、紙おむつ本体の背側部の両側縁部のそれぞれに一つずつ配されるとともに、止着部の基端部は、紙おむつ本体の胴周りを形成する開口縁側と、脚周り側に固定される。従って、紙おむつを着着させる際、着用者の両脇腰部のそれぞれにおいて止着部を1箇所ずつ、合計2箇所止着させれば、紙おむつの胴周りと脚周りの固定を行うことができ、弛みや窮屈さ等を感じることなく紙おむつの装着作業を容易且つ確実に行うことができる。また、紙おむつを着用者から外す際も、止着部を2箇所外せば紙おむつの固定を解くことができ、作業が容易となる。

【0009】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の紙おむつの止着構造において、前記止着部は、前記基端部から該止着部の先端部（63）にかけて幅が狭くなるように形成されていることを特徴とする。

【0010】請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の発明と同様の効果が得られることは無論のこと、基端部から先端部にかけて幅が狭くなるよう形成されることによって、止着部の先端部が指先で摘み易くなるので、紙おむつの着脱作業がより一層容易となり好適である。また、止着部をより小さく形成することができるので、コストダウンが図れる。

【0011】請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の紙おむつの止着構造において、前記止着部の胴周り側の縁部（第1テープ部61、261）は、前記紙おむつ本体の胴周りと略平行に形成され、前記止着部の脚周り側の縁部（第2テープ部62、262）は、前記紙おむつ本体の脚周りから胴周りに向かって傾斜するように形成されていることを特徴とする。

【0012】請求項3に記載の発明によれば、止着部の胴周り側の縁部が紙おむつ本体の胴周り部と略平行に形成されているので、紙おむつを人体に装着させた際、胴周りを形成する開口縁側を人体に好適に固定させることができる。また、止着部の下部側の縁部は、脚周りから胴周りに向かって傾斜するように形成されているので、装着時に紙おむつ本体を上方に引き上げるようにして止着部で固定することができる。従って、紙おむつ本体の胴周りおよび脚周りをともに好適に固定させることができる。

【0013】請求項4に記載の発明は、請求項2または3のいずれかに記載の紙おむつの止着構造において、前記止着部は、前記基端部側が、第1テープ部（61）と第2テープ部（62）とに分岐した構造となっており、前記第1テープ部は、前記紙おむつ本体の胴周り側に固定され、前記第2テープ部は、前記紙おむつ本体の脚周り側に固定されることを特徴とする。

【0014】請求項4に記載の発明によれば、請求項2または3に記載の発明と同様の効果を奏することは無論

のことで、止着部は、基端部側が胴周り側に固定される第1テープ部と、基端部が紙おむつ本体の脚周り側に固定される第2テープ部とに分岐しているもので、紙おむつの装着作業時に、紙おむつ本体の胴周りと脚周りを別個に引っ張ることができるので、窮屈さ等を容易に調節することができる。

【0015】請求項5に記載の発明は、請求項4に記載の紙おむつの止着構造において、前記第2テープ部の弾性率は、前記第1テープ部の弾性率よりも大きいことを特徴とする。

【0016】請求項5記載の発明によれば、紙おむつ本体の胴周りは、第1弾性部材によって弛みや窮屈さのない好適な状態で固定される一方、紙おむつの脚周りは、第1弾性部材よりも弾性率の大きい第2弾性部材で固定されることにより、着用者の脚の動きによって紙おむつの脚周り部が弛んだりずれたりすることを防ぐことができる。

【0017】請求項6に記載の発明は、請求項1～5のいずれかに記載の止着構造を備える紙おむつ（10）である。

【0018】請求項6に記載の発明によれば、紙おむつ本体の背側側縁部のそれぞれに設けられる止着部の合計2箇所を、紙おむつ本体腹側の被着部に対して止着させるだけで、紙おむつを人体に装着させることができ、また紙おむつの胴周りおよび脚周りを好適に固定させることができる。従って、着脱作業が容易であるとともに、人体に好適に装着させることができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、図を参照して本発明の実施の形態を説明する。図1は、本発明の一例としての紙おむつ10の斜視図であって、図2は紙おむつ10の展開図（使用時に人体に接触させる側を示す）である。紙おむつ10は、紙おむつ本体1と、止着テープ6、6（止着部）と、被着テープ8（被着部）とを備えている。

【0020】紙おむつ本体1は、人体との接触面側に設けられる透液性の不織布からなるトップシート1aと、装着時に外部側に設けられる不透液性のバックシート1bと、トップシート1aとバックシート1bとの間に介装される吸収体（図示略）とにより主に構成される。紙おむつ本体1は、人体の股部を腹側から背側にかけて覆うように、一方の端部に腹側部2が形成され、他方の端部に背側部3が形成されている。また、腹側部2と背側部3との間が股下部4となっている。股下部4の両側方は内側に凹むように形成され、装着された際に着用者の脚周りを形成する脚周り部5、5となっている。背側部3の側縁部32の股下部4側端部は、脚周り部5の一部を形成している。この側縁部32における脚周りの位置を32bとする。

【0021】紙おむつ本体1の腹側部2の端部21と、背側部3の端部31とは、紙おむつ10が人体に装着さ

5

れた際に、胴周りを形成するようになっている。紙オムツ本体1において、着用者の胴周り（ウエスト）に略対応するラインを胴周り部9（背側部3の胴周り部を9a、腹側部2側の胴周り部を9b）とする。図2においては、胴周り部9a、9bはそれぞれ端部31、21に略沿う形状であるが、胴周り部9a、9bは紙オムツ本体1の端部の形状に拘らず、使用時の着用者の胴周りに略対応するラインを意味する。

【0022】止着テープ6、6は、紙おむつ本体1の背側部3の両側の側縁部32、32からそれぞれ側方に突出するように設けられる。止着テープ6、6は、第1テープ部61と、第2テープ部62と、止着部材7とにより構成されている。

【0023】第1テープ部61は、ゴム等の弾性部材（第1弾性部材）で形成され、その基端部は紙おむつ本体1の背側部3の側縁部32において、胴周り部9aに略相当する位置32a（紙おむつ本体の胴周りを形成する開口縁側）に固定されている。そして第1テープ部61は、胴周り部9aと略平行となるように、側方に向かって延出している。

【0024】一方、第2テープ部62は、第1弾性部材よりも弾性率の大きい弾性部材（第2弾性部材）形成され、その基端部は背側部3の側縁部32において、略胴周りの位置32b（脚周り側）に固定されている。第2テープ部62は、背側部3の胴周り部9aに向かって傾斜しながら側方に延出しており、その先端部は第1テープ部61の先端部まで達し、第1テープ部61にホットメルト等のヒートシールで固着されている。このように第1テープ部61と第2テープ部62とが合流して形成される先端部63は、指先で摘み易い程度の幅となっている。止着テープ6、6は、このように第1テープ部61と第2テープ部62とで形成されることにより、基端部側が分岐した構成となっており、また基端部から先端部63にかけて幅が狭くなる形状となっている。

【0025】第1テープ部61と、第2テープ部62とが固着されて形成された先端部63には、止着部材7が設けられている。この止着部材7は、例えば面ファスナーの一方の係止要素や、粘着テープ等によって構成される。

【0026】また、紙おむつ本体1の腹側部2の外側（前述のバックシート側）には、止着テープ6の止着部材7を着脱自在に止着させる被着部が備えられた被着テープ8が設けられている。被着部は、例えば、止着部材7が面ファスナーの一方の止着要素で形成される場合は、当該面ファスナーの他方の止着要素によって形成され、また止着部材7が粘着テープの場合は、該粘着テープが着脱自在なフィルム等で形成される。これらの止着テープ6、6と、被着テープ8とにより、紙おむつ10の止着構造が構成される。

【0027】紙おむつ10は、股下部4を着用者の両脚

6

の間に挟み、腹側部2と背側部3とを着用者の腹部と背部とにそれぞれ当てるようにして、止着テープ6、6の止着部材7、7を被着テープ8に止着させることにより、人体に装着される。止着テープ6、6を被着テープ8に止着させると、紙おむつ本体1の胴周り部9は、第1テープ部61によって引く張られ、また紙おむつ本体1の脚周り部5、5は、第2テープ部62によって胴周り部9方向に引き上げられ、止着部材7によって固定される。

【0028】従って、以上の紙おむつの止着構造によれば、紙おむつ本体1の2箇所に設けられている止着テープ6、6を止着させることで、紙おむつ本体1の胴周り部9と脚周り部5、5とを固定することができ、また2箇所の止着部材7、7の止着を外せば、紙おむつ10を取り外すことができるので、紙おむつ10の着脱作業を容易に行うことができる。また、装着時、第1テープ部61と第2テープ部62の引張り具合を調整しながら止着テープ6を止着させれば、胴周り部9と脚周り部5、5の固定の弱固さを調節しながら紙おむつ本体1を人体に固定できるので、紙おむつ1を好適に装着させることができる。

【0029】さらに、止着テープ6は、基端部から先端部63にかけて第1テープ部61と第2テープ部62とによるテープ幅が狭くなるように形成されており、止着テープ6の先端部は指先で摘み易い程度の幅となっているので、紙おむつ10の着脱作業はより一層容易となる。加えて、第1テープ部61が紙おむつ本体1の胴周り部9と略平行に形成され、また第2テープ部62は、脚周り部5から胴周り部9方向に傾斜するように側方に延出して形成されているので、紙おむつ10の胴周り部を人体にフィットさせるとともに、脚周り部5、5を上方に引き上げるようにして紙おむつ本体1を固定できるので、脚周りの動きにも対応した固定ができ好適である。

【0030】また第1テープ部61は第1弾性部材によって、また第2テープ部62は第2弾性部材によって固定されるので、紙おむつ10は、胴周り部が弛みやすさのない好適な状態で固定できる一方、脚周り部分は、第1弾性部材よりも弾性率の大きい第2弾性部材で固定されるので、着用者の脚の動きによって紙おむつ10の脚周り部5、5が弛んだりずれたりすることを防ぐことができる。

【0031】なお、本発明は、上記実施の形態に限定されるものではない。例えば、止着テープは不織布等と弾性部材（ゴム等）とを組み合わせて形成してもよい。また、止着テープは、弾性部材を設けず不織布やフィルム等で形成してもよく、またトップシートとバックシートの少なくとも一方を形成するシートを延出させて、止着部を形成させるようにしてもよい。さらに、第1テープ部と第2テープ部の一方にのみ弾性部材を設けてもよ

7

く、或いは第1テープ部と第2テープ部とを一つの部材で形成してもよい。加えて、図3(a)のように、止着テープ160の第1テープ161と第2テープ162とを先端部に向かってテープ状となるように形成してもよく、それぞれの傾斜角度も適宜変更可能である。

【0032】また止着テープは、基礎部の上端部が紙おむつ本体の胴周りに固定され、また下端部が脚周りに固定されていれば、一つの面テープで構成することも可能である。例えば図3(b)～(d)のように、面テープの基礎部を幅広く形成し、紙おむつ本体の側縁部において胴周り部から脚周りに亘って固定して、側方に延出させてもよい。

【0033】このような面テープで構成される止着テープにおいて、例えば図3(b)の止着テープ260のように、胴周り部209側の縁部261を紙おむつ本体201の胴周り部209と略平行に形成し、胴周り部側の縁部262を紙おむつ本体201の脚周り部205から脚周り部209方向に傾斜するように形成し、先端部を指先で掴み易い程度の幅に（基礎部から先端部にかけて幅が狭くなるように）形成すれば、先端部を掴んで面テープを着脱させることが容易であり、且つ紙おむつ本体201の胴周り部209と脚周り部205とを好適に固定することができる。また図3(c)の止着テープ360のように、胴周り部側の縁部361と脚周り部側の縁部362とを、先端部に向かってテープ状となるように形成してもよく、これらの縁部の傾斜角度も変更可能である。

【0034】また図3(d)のように、紙おむつ本体401に固定される基礎部から先端部にかけて、幅が略一様な面テープならなる止着テープ460を設けてもよい。このような止着テープ460においても、紙おむつ本体401の胴周り部409近傍の基礎部と、脚周り部405近傍の基礎部に対する先端部の引っ張り具合を調節しながら被着テープに止着させることで、紙おむつ本体401の脚周り部405と胴周り部409とのきつさや弛さを調節でき、紙おむつを人体に好適に装着させることができる。

【0035】この図3(b)～(d)のような面テープは、例えば不織布や樹脂製フィルム等で形成し、先端部163、263、363に止着部材107、207、307、407を設ければよい。また、面テープに、胴周り部近傍の基礎部から先端部にかけて弾性部材（第1弾性部材）を設ける、或いは脚周り部近傍の基礎部から先端部にかけて弾性部材（第2弾性部材）を設ける等でもよく、さらに、第1弾性部材よりも第2弾性部材の弾性率を大きくするなども勿論可能である。

【0036】また、本実施の形態においては、止着部材を止着テープ（止着部）の先端部にのみ設けているが、例えば図4(a)に示すように、止着部材107'を止着テープの全体（第1テープ部161と第2テープ部1

8

62の全体）に亘って設けてもよい。或いは、図4(b)に示すように、止着部材を一つの面テープで形成した止着部（止着テープ）において、ウエストラインの延長線上と、脚周り部105、205、305の延長線上と、に沿うように設けてもよい。さらに、図4(c)のように、テープ状の止着部において、止着部材307'を、胴周り側基礎部と脚周り側基礎部とのそれぞれから、先端部363にかけて設けるようにしてもよい。

【0037】また止着テープを、面ファスナーや粘着テープ等の、止着部材自体で形成してもよい。さらに被着部は、被着テープの全体に設けてもよく、一部でもよい。加えて、止着部材として面ファスナーを設け、紙おむつ本体のバックシートを面ファスナーが着脱自在の不織布等で形成すると、止着部材をバックシート上のいずれの位置でも止着可能にすることができ、このように形成すれば、止着の自由度が増し好適である。また、この紙おむつの止着構造を、幼児用、大人用のいずれの紙おむつに設けてもよい。

【0038】

【発明の効果】請求項1に記載の発明によれば、止着部は、紙おむつ本体の背側部の両側縁部のそれぞれに一つずつ配されるときにも、止着部の基礎部は、紙おむつ本体の胴周りを形成する開口縁側と、脚周り側とのそれぞれに固定される。従って、紙おむつを装着させる際、着用者の両脇腰部のそれぞれにおいて止着部を1箇所ずつ、合計2箇所止着させれば、紙おむつの胴周り脚周りの固定を行うことができ、弛みや腐敗等を感じることなく紙おむつの装着作業を容易且つ確実に行うことができる。また、紙おむつを着用者から外す際も、止着部を2箇所外せば紙おむつの固定を解くことができ、作業が容易となる。

【0039】請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の発明と同様の効果が得られることは無論のこと、止着部の基礎部から先端部にかけて幅が狭くなるよう形成されることによって、先端部が指先で掴み易くなるので、紙おむつの着脱作業がより一層容易となり好適である。また、止着部をより小さく形成することができるので、コストダウンが図れる。

【0040】請求項3に記載の発明によれば、止着部の胴周り側の縁部が紙おむつ本体の胴周り部と略平行に形成されているので、紙おむつを人体に装着させた際、胴周りを人体に好適に固定させることができる。また、止着部の下部側の縁部は、胴周り側から胴周り側に向かって傾斜するように形成されているので、装着時に紙おむつ本体を上方に引き上げるようにして止着部で固定することができる。

【0041】請求項4に記載の発明によれば、止着部は、基礎部側が胴周り側に固定される第1テープ部と、基礎部が紙おむつ本体の胴周り側に固定される第2テープ部とに分岐しているため、紙おむつの装着作業時に、

紙おむつ本体の胴周りと脚周りとを別個に引っ張ることができ、窮屈さ等を容易に調節することができる。

【0042】請求項5記載の発明によれば、紙おむつ本体の胴周りは、第1弾性部材によって弛みや窮屈さのない好適な状態で固定される一方、紙おむつの脚周り部は、第1弾性部材よりも弾性率の大きい第2弾性部材で固定されることにより、着用者の脚の動きによって紙おむつの脚周り部が弛んだりずれたりすることを防ぐことができる。

【0043】請求項6に記載の発明によれば、紙おむつ本体の背側側縁部のそれぞれに設けられる止着部の合計2箇所を、紙おむつ本体腹側の被着部に対して止着させるだけで、紙おむつを人体に装着させることができ、また紙おむつの胴周り部および脚周り部を好適に固定させることができる。従って、着脱作業が容易であるとともに、人体に好適に装着させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用した紙おむつの斜視図である。

【図2】図1の紙おむつの展開図である。

【図3】本発明を適用した紙おむつの止着構造の他の例を示す図である。

【図4】本発明を適用した紙おむつの止着構造の他の例\*

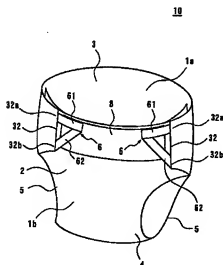
\*を示す図である。

【図5】従来の紙おむつの展開図である。

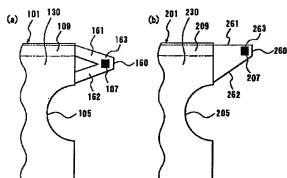
【符号の説明】

1, 101, 201, 301, 401	紙おむつ本体
2	腹側部
3, 130, 230, 330, 430	背側部
31	端部
32	側縁部
32a	位置（胴周りを形成する開口縁側側）
32b	位置（脚周り側）
5, 105, 205, 305, 405	脚周り部
6, 160, 260, 360, 460	止着テープ（止着部）
61, 161	第1テープ部
62, 162	第2テープ部
63, 163, 263, 363, 463	先端部
7, 107, 207, 307, 407, 107', 207', 307'	止着部材
8	被着テープ（被着部）
9, 109, 209, 309, 409	胴周り部
9a	背側部の胴周り部
10	紙おむつ

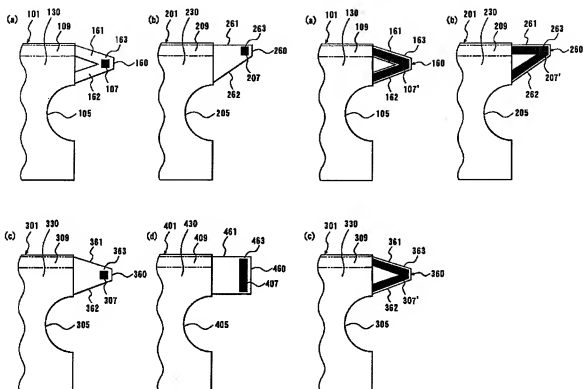
【図1】



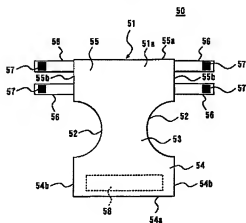
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3B029 ED01 ED08  
4C098 AA09 CC07 CC14 CE07 CE08  
CE17 DD10 DD22 DD23